

議会だより

とのしょう



笑顔・八重咲き ～ 豊島小・中学校 入学式 ～



新年度予算決まる	2-3
予算など審議	4
議案に対する賛否	5-6
町長の施政方針を問う	7
委員会の活動報告	8-10
一般質問（4人の議員が町政を問う）	11-13

過去最大規模の予算を可決

3月
定例会

一般会計 105 億 6900 万円【前年度比 17.5%増】

二酸化炭素排出抑制事業

ドローンによる物流ネットワーク構築のため、拠点施設に太陽光発電、蓄電設備を整備する費用など

3億
2785
万円

土庄町庁舎建設事業

庁舎建設工事に伴う費用

20億
7722
万円

小学校スクールバス運行事業

老朽化によるスクールバス2台の購入費用、運行委託料など 庄町

8438
万円

ふるさと納税推進事業

ふるさと納税返礼品の費用、運営業務委託料など

1億
5708
万円

日本遺産推進事業

石のシンポジウムなどのイベント開催費用

2525
万円

離島振興事業

(全国離島交流中学生野球大会負担金)

離島甲子園開催に伴う負担金

4378
万円

こんなことに使われます
〜令和2年度の主な事業〜

3月定例会は3月4日に開会し、3月18日に閉会しました。

初日に町長の令和2年度施政方針説明の後、令和元年度補正予算6件、令和2年度当初予算9件、条例12件、その他2件が提出され、最終日に人事案件1件が追加提出されました。

補正予算及び人事案件を除く議案は、委員会付託による審議を経て、すべての議案を原案どおり可決しました。また、請願1件を不採択、議員発議による条例1件を可決しました。一般質問では、4人の議員が町政について質問を行いました。

一般会計予算案

に対する討論

令和2年度一般会計

反対 福本耕議員

①個人情報漏洩の危険性があるマイナンバー関連予算。②急務の課題ではないドローンのための太陽光発電設備の設置予算。③反対の声があるパワーボート大会の誘致予算。④新たな差別を生む同和事業関連予算。⑤学校給食費の値上げ。⑥多目的グラウンドの料金設定に反対する。

反対 鈴木議員

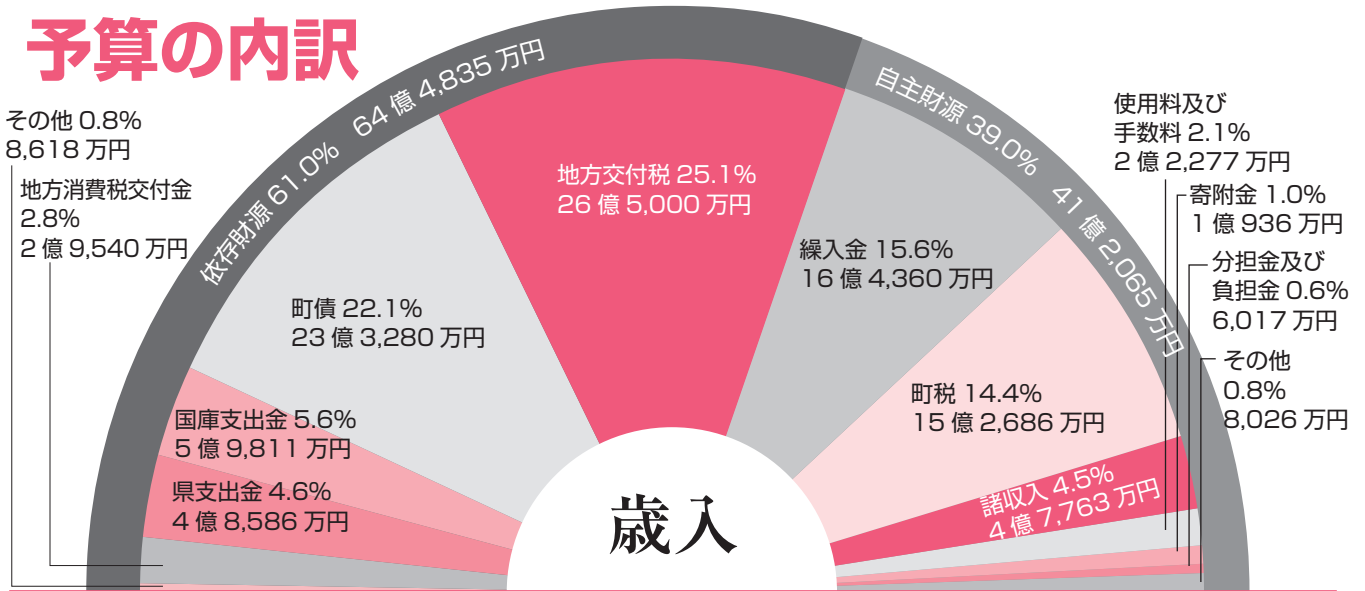
財政が厳しい中で、例年どおりの事業を繰り返すのではなく、必要な事業を残すべき。ドローンや観光などへ過度に投資する余裕はないはずだ。もっと町民に寄り添ったお金の使い方をするべきと考えるため反対する。

賛成 岡野議員

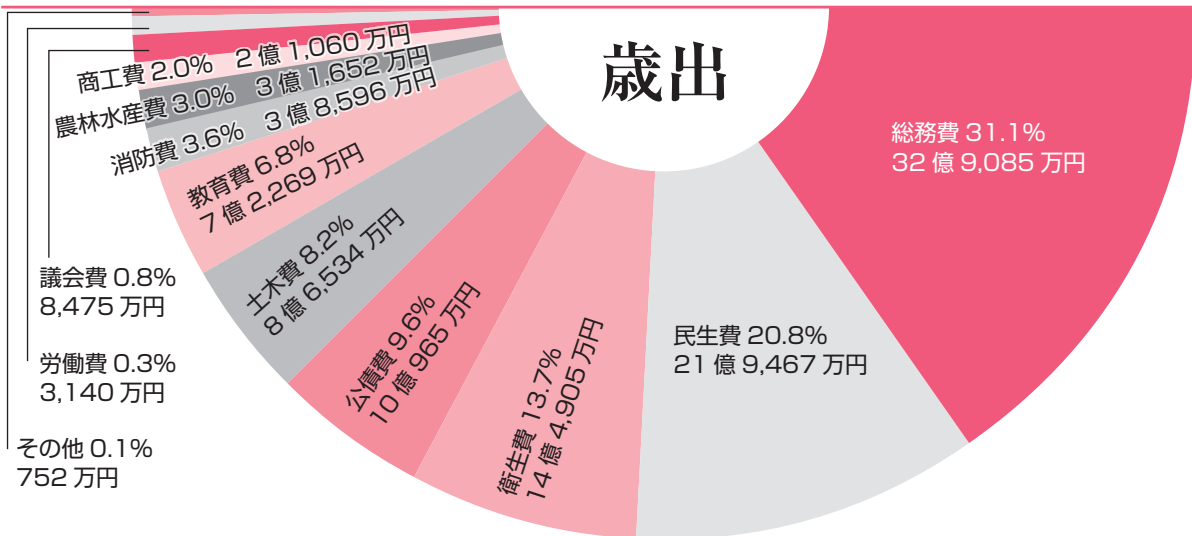
各常任委員会でも審査し、事業を行うにあたり必要で適正な予算と認められているため賛成する。

本格的な庁舎建設工事などにより

予算の内訳



一般会計 105 億 6,900 万円



令和2年度特別会計予算

会計名	2年度予算額	対前年度比
国民健康保険事業	20億6,636万円	5.2%
港湾整備事業	3,830万円	△24.9%
宅地造成事業	7,949万円	△0.4%
大鐸財産区事業	429万円	△33.5%
農業集落排水事業	2,729万円	11.9%
介護保険事業	20億911万円	5.3%
福祉サービス事業	9,566万円	1.2%
後期高齢者医療事業	2億7,869万円	14.9%

令和元年度補正予算

会計名	補正額	補正後
一般会計	△3,719万3千円	91億5,287万円
国民健康保険	2,892万円	19億9,458万9千円
大鐸財産区	△128万4千円	515万7千円
介護保険	8,971万9千円	20億3,099万5千円
福祉サービス	△147万4千円	9,357万9千円
後期高齢者医療	747万4千円	2億5,002万8千円

総務建設常任委員会
での主な質疑

消費増税及び新型コロナウイルス感染症の影響

《演野》今後の見込みをどう考えているか。

《税務課》特に新型コロナウイルスウィルス感染症は、すでに経済活動に大きな影響が出始めている。今後の収納への影響を注視する必要がある。

債権管理室の旅費

《川本》滞納整理が進んでいると聞いていたが、今回の旅費の増額の理由は。

《出納室》税務課で十分な対応ができずにいる島外未納者の案件を、債権管理室が引き受けて対応する予定としている。

公債費の利子

《木場》元金は増えているのに、利子が減っているが。

《総務課》利率の高いときに借りた残高は減ってきているので、その分の利子が少なくなっている。

旧愛の園保育所の改修

《演野》商工会に貸し出すために、改修費に2200万円計上しているが、どの程度の改修を考えているか。

《総務課》商工会と相談して改修箇所を決めるが、便器が子ども用であるのでトイレの改修、遊具の移設・撤去、簡単な間仕切りの改修を想定している。将来的には、仮に商工会が使用をやめた場合に、次の事務所として使える改修をしたい。

《岡本》遊具の有効活用を考えているか。

《総務課》移設できるものはフレトピア広場、各こども園へ移設する。

県外旅費

《茂木》他の課に比べる金額が大きい理由は。《企画課》県外旅費は、町長の出張旅費が主なものである。

ふるさと納税

《川本》今後の見通しは。《企画課》小豆島ブランドで、やり方によっては伸びしろがあると感じている。

離島甲子園の負担金

《茂木》令和2年度は、4378万円。来年度以降はどうなるか。

《企画課》今回の負担金は、開催地としての負担金。来年度参加する場合は、一律200万円を支出する。

教育民生常任委員会
での主な質疑・意見

中央公民館トイレ改修

《三木》トイレはどのような改修をするのか。

《生涯学習課》1階女子トイレの和式便器3基を洋式便器2基に変える。

働く婦人の家運営費

《演野》建物が老朽化しており、2階も使いづら。エレベーター等をつけることは難しいので、目的を変更するなどとは考えているか。

《生涯学習課》次年度の施設の長寿命化計画で今後の方針を決定する予定である。

風疹対策事業

《福本耕》どういった内容か。《健康増進課》風疹抗体価を持っていない男性を対象に、風疹抗体価検査と予防接種を受ける費用である。

グラウンドの照明代

《福本耕》利用者の負担が大きく、使いづらい。使

医療費分析事業

《三木》どういった分析をするのか。《福祉課》国保データベースを活用して、医療費分析を行い、効果的、効率的な保健事業の実施につなげる。

施設の長寿命化計画

《岡野》施設の利用者や担当課の意見をヒアリングして計画に取り入れていただきたい。

不燃ごみの島外搬出

《鈴木》綾川町に持って行く費用の総額は。《住民環境課》島外搬出にかかる費用は、4909万8千円である。



グラウンドの照明代を安くして利用者の増加を

緊急通報体制整備事業

《鈴木》どのような事業か。《福祉課》シルバーホンを設置する事業である。

マイナンバーカード

《井上》増加の傾向か。《住民環境課》交付数は1588人。交付率は11%である。

国の目標は90%なので、月1回、日曜日に交付手続きのために開庁し、交付率をあげていく。

令和2年3月議会で審議した議案とその結果

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ー：議長（議長は採決に加わりません）

上程された議案の概要	議会だより 関連ページ	議決 結果	茂 木	鈴 木	榎 達	三 木	岡 野	岡 本	高 橋	榎 耕	川 本	井 上	木 場	濱 野
○令和元年度補正予算														
一般会計補正予算（第5号） （事業精算等により3719万3千円等を減額し、総額91億5287万円とする）	P3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） （決算見込み等により2892万円を追加し、総額19億9458万9千円とする）	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
大鐸財産区事業特別会計補正予算（第1号） （事業費確定により128万4千円を減額し、総額515万7千円とする）	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
介護保険事業特別会計補正予算（第3号） （決算見込み等により8971万9千円を追加し、総額20億3099万5千円とする）	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
福祉サービス事業特別会計補正予算（第2号） （決算見込み等により147万4千円を減額し、総額9357万9千円とする）	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） （決算見込みによる保険料負担金の増額等により747万4千円を追加し、総額2億5002万8千円とする）	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー
○令和2年度予算														
一般会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ105億6900万円とする）	P2・3	可決	欠	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー
国民健康保険事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ20億6636万4千円とする）	P3	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
港湾整備事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ3829万5千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
宅地造成事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ7949万3千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
大鐸財産区事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ428万5千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
農業集落排水事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ2728万6千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
介護保険事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ20億911万3千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
福祉サービス事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ9565万8千円とする）	//	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
後期高齢者医療事業特別会計予算 （歳入歳出予算をそれぞれ2億7868万5千円とする）	P3・6	可決	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー
○条例の制定														
行政組織の改編に伴う関係条例の整備に関する条例 （福祉課と健康増進課を統合し、新しく健康福祉課を設置する）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
○条例の一部改正														
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正 （会計年度任用職員のサービスの宣誓方法について規定するもの）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
証人等の実費弁償に関する条例の一部改正 （執行機関等からの依頼又は要求に応じ、講師等として旅行した者に対する実費弁償について規定するもの）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
職員の給与に関する条例の一部改正 （令和元年人事院勧告に伴うもの）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 （令和元年人事院勧告に伴うもの）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
債権管理に関する条例の一部改正 （語句を改めるもの 「時効中断」→「時効更新」）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
大鐸財産区管理会条例の一部改正 （巡視、現場作業等に従事した場合に支給する報酬について規定するもの）		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
多目的グラウンドの設置及び管理に関する条例の一部改正 （旧土庄高校上庄グラウンドを貸し出しするために、必要となる事項を定めるもの）	P4・6・ 13	可決	欠	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー

令和2年3月議会で審議した議案とその結果

上程された議案の概要	議会だより 関連ページ	議決 結果	茂 木	鈴 木	榎 達	三 木	岡 野	岡 本	高 橋	榎 耕	川 本	井 上	木 場	濱 野
体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正 (旧土庄高校体育館を貸し出しするために、必要となる事項を定めるもの)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
障害者等用駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正 (土庄港港務所前に送迎用駐車場区画を整備する)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険条例の一部改正 (消費税率の引き上げに伴い、介護保険料の低所得者負担軽減を強化するためのもの)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町営住宅管理条例の一部改正 (民法の改正に伴い、債権関係の規定の見直しを行うもの)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
○その他														
道路線の廃止 (鳥獣被害防止施設侵入防止柵設置に伴い、一の井手線、浜脇線の2線を廃止)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
道路線の認定 (鳥獣被害防止施設侵入防止柵設置に伴い、浜脇線の終点位置を変更し、再度路線を認定しようとするもの)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
○請 願														
日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願	P6	可決	欠	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	—
○人 事														
教育委員会教育長の任命 (任期満了に伴い、引き続き教育長として下地芳文氏を任命することに同意)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
○議員発議														
議会委員会条例の一部を改正する条例 (健康福祉課が設置されることに伴い、常任委員会の所管を変更するもの)		可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：議長（議長は採決に加わりません）

予算案に対する討論

令和2年度後期高齢者医療事業特別会計

反対 福本耕議員

75歳以上の保険料がどんどん上がっていき、かつサービスが低下することが国会でも指摘されている。制度に反対する立場から反対する。

賛成 岡野議員

国民健康保険の現状維持、また現在の高齢化率から考えると必要な制度であるため賛成する。

条例案に対する討論

多目的グラウンドの設置及び管理に関する条例の一部改正

反対 福本耕議員

料金が高いため施設が使いにくい。引き下げを求める立場から反対する。

賛成 三木議員

執行部において十分精査した料金設定であると考えるため賛成する。

請 願

◇日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願

請願者 香川県原爆被害者の会 会長 好井敏彦
原水爆禁止香川県協議会 筆頭代表理事 松永 始
紹介議員 福本 耕太

趣 旨

唯一の被爆国である日本は率先して取り組むべきである。政府は、核兵器禁止条約に早急に署名し、批准されるよう求める意見書の提出を求める。

討 論

反対 高橋議員

核保有国は、この条約を批判している。核保有国が参加しなければ、この条約の目的である「核兵器の全面廃止と根絶」は実現しない。世界の国々が対立せず、核兵器のない世界に向けて日本がリーダーとなり、動いていくことが大事である。

賛成 福本耕議員

核兵器禁止条約が国連のルールとなった場合、核兵器を持つ国は、世界での立場がなくなる。核兵器を保有している国をなくしていく手段として、この条約が掲げられている。

核兵器禁止条約は、日本国民だけでなく、全世界、全人類の大きな夢であり、希望であり、これを望む上で核兵器禁止条約の調印は、1日も早く実現を目指すべきものだと考える。

1月臨時会

1月31日に臨時議会を開催し、財産の取得1件を全員賛成で可決しました。

財産の取得

◇戸別受信機6000台〈契約金額〉1億8810万円
〈契約の相手方〉(株)四電工 香川支店

町の魅力を活かし、 時代が求める要求に効果的な施策を講じる

①住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり

- 日本遺産認定を契機とし、大坂城残石記念公園、重岩、石の絵手紙ロードの整備
- 有害鳥獣被害対策を実施し、被害の軽減に取り組む
- 蓄電池設備付太陽光パネルの設置等により二酸化炭素排出削減に努める
- 離島甲子園の開催

②誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり

- 庁舎建設工事の着手
- 交通事故の加害者にも被害者にもならないよう交通マナーの向上を目指す
- デジタル防災行政無線の戸別受信機を各家庭へ整備



③子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり

- 四海こども園の建て替えにかかる実施設計
- 虐待防止の啓発
- 保護を要する児童の早期発見や適切な対応を的確に行える体制を継続
- 肥土山歌舞伎舞台の修繕

④住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり

- 町内での介護職員養成講座の実施
- がん検診の受診率向上
- 老朽危険空き家の除去支援

⑤協働と連携により、自律するまちづくり

- フレトピア広場に遊具を設置
- マイナンバーカードの取得促進
- ふるさと納税への取り組み強化
- 未利用財産の売却や貸付による自主財源の確保

施政方針に対する質問

マイナンバーカードの危険性

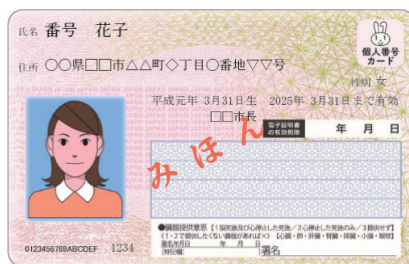
《福本耕》危険性の認識は。町長は、「積極的に進める」と言っているが、何か起きたときの責任は町長が取ると宣言できるか。

《町長》マイナンバーカードは顔写真が載っている。落としても本人以外には使えないので危険性はない。国が推し進めている事業であるので、何かあれば国と一緒に考えていくべき。

《福本耕》これは、使うほどカードに保存される情報量が増えていく上に、行政管理の下でも個人情報漏洩の可能性が極めて高い。自分以外のところで漏洩していく危険性が問われているが、町長はそういう認識がない。

自主財源の確保

《岡本》自主財源を確保するために、良い見本が他地域にあれば、町長、職員が足を運んで勉強し



マイナンバーカード

てもらいたい。

《町長》今後前向きに取り組んでいく。

町の財政

《鈴木》町の借金が103億円ある。人口が減り、後を託す子どもにも負担が増え続ける。町長の英断で事業を削減することも必要ではないか。

《町長》借金について過疎債、迎地債などは国からの交付税措置がある。

しかし、財政調整基金も減ってきているので、今後は、事業の見直し、経費削減の徹底を図っていききたい。

災害時の情報発信

《茂木》正確な情報を、速やかに住民一人ひとりに届けていくということが、住民の安心に繋がりが、無用な混乱を避けることになる。今後、町長としての災害時の情報発信、そして土庄町としての情報発信をどのように考えているか。

《町長》周知の仕方については、対策本部の中で話しながら迅速にできるようにしていきたい。

小豆島ブランド

《岡野》現在コロナウイルスの影響でアピールできないが、ふるさと納税も増えてきており、小豆島ブランドが少しずつ構築されてきていると感じる。さらなるPR方法をどのように考えているか。

《町長》コロナウイルスの影響でなかなか難しい状況である。今後町としてできるPRを協議していききたい。

総務建設常任委員会 (2/20)

企画課

組織再編

今年4月1日から住民サービスの向上を図ることを目的に、福祉課と健康増進課を統合し、健康福祉課を設置しようと考えている。今回の組織再編は、職員からの提案が元となっている。

乳幼児から高齢者まで幅広い年代に、迅速かつ適切に対応するため、事務職及び保健師、社会福祉士等の専門職がより一層の連携強化を図ることができると考えている。

《濱野・川本》課長の負担が増えるので、課長の次のポストの重要性が増してくると思うが。
《答》今の2課それぞれに、課長補佐級の配置が必要と考えている。

《川本》新庁舎に移った場合、統合した課は1つのフロアに入れるのか。
《答》今の2課が入れば理想であるが、厳しいと思う。

ランドデザイン

住民や島内高校生などによる外部説明会及び意見交換を経て、現在、庁内プロジェクト会議により素案を作成し、校正している。土庄・洲崎地区を中心市街地として、行政施設や民間施設を集約させ、各地区の拠点をつなぐ。各地区は、地域の拠点を形成し、コミュニティ力を高めることで、地区住民が安心して住み続けられる地区を目指す。30年後の将来像のため、すべてを早急に実施できるものではないが、3月中旬にパブリックコメントを実施し、意見を受けた上で完成させる。

《高橋》各地区で人材をつくらなければ、この計画も打ち上げ花火で終わってしまう。人材育成

のテーブルをつくってもらいたい。

《答》地域の皆さんと協議をしながら修正し、具現化していくものであり、人材育成も含めて、皆さんと進めていきたい。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

12月末に国の「人口ビジョン」、「総合戦略」が閣議決定されたことを受け、これに沿った地方版総合戦略を立てる必要がある。第1期と同様に、2060年に人口1万人をキープする目標で、総合戦略を立てている。

第1期総合戦略を継続するが、社会情勢や人口ビジョンにのっとって、新たな具体的施策として継続的な関係づくりの推進、魅力的な教育による交流創出、新たな商品・サービスを生み出す創業支援、土庄町ランドデザインの推進を追加している。

《濱野》ランドデザインとの関連性は。

《答》ランドデザインは中長期の構想、総合戦略は5年スパンのものであるが、リンクさせながら施策に反映させ進めていきたい。

建設課

大木戸住宅の家賃

大木戸住宅T・1棟の部屋、洗面台、トイレ及び浴室の住戸改善が完了した。町営住宅は、応能応益家賃制度であり、入居者の収入に応じる部分と住宅の便益に応じる部分から成る。今回の住戸改善により住宅の利便性が上がり、家賃も上がることになる。

改修前



改修後



王子前分譲地の売却

アンケートを実施した中で、未売却地の売却のために町が土地の販売価格を見直すことをどのように思うかについては、「賛成」が12名、「反対」が15名、「どちらでもよい」が17名であった。3分の1の方が反対している。土地の価格を不動産鑑定に基づき算定すると、全体の下落率は約52%である。

《木場》固定資産評価額はどのくらいなのか。

《答》平方メートルあたり約2万8千円で課税している。

《濱野》単価を下げてでも売っていく考えか。

《答》当初も土地の不動産鑑定をして売っている。今回も不動産鑑定をして今の評価額で売りたい。

《川本》委員会、議会で販売価格を見直すことについての意見を示すべき。

沖之島架橋

平成30年度より国庫補助事業として現在まで、法令手続き、埋立申請等、地形測量、地質調査を実施し、このデータを基に、橋梁・道路基本設計を進めている状況である。令和2年度には橋梁・道路詳細設計及び法令手続き等を実施し、工事着手準備が整えば、令和3年度以降から橋梁工事に着手する予定である。

洲崎都市下水路事業

現在大谷ポンプ場を整備しているが、今年度の工事で、周辺家屋の土間コンクリートや玄関タイルにひびが入る現象が起った。工事着手前に事前調査を実施した数値と比較すると変位量が10ミリを超えている箇所が2カ所あった。今後、地盤調査及び工損事後調査を実施するとともに必要に応じて地盤改良も検討している。

《高橋》想定はしていたのか。

《答》周辺工作物への影響がありうるのとこととで、事前に調査を行っていた。

今後事後調査を行い、事前調査と対比して補償を算定する。

総務課

防犯カメラ設置促進事業

香川県警が、自治会、町と連携し、平成21年度から町内6カ所に防犯カメラを設置している。平成28年度からは、香川県警が設置に係る補助制度を創設した。

令和元年度に自治会より防犯カメラの更新について申し出があり、地域の防犯活動に取り組み自治会を支援するため、土庄町防犯カメラ設置促進事業補助金を創設し、香川県警の助成に加え、町が補助金を上乗せする。



町内に設置された防犯カメラ

中期財政計画

大型事業が集中する令和2年度以降も償還見込額は高止まりの想定であり、新規事業や継続事業も現在のような規模での実施は難しいと予測される。大型事業の償還完了時期を考慮した後年度への事業の延伸など、計画の再考が必要である。

庁舎建設事業

令和2年2月25日から建設地周辺に仮囲いを設置し、3月4日に施工業者による安全祈願祭が実施される。令和2年度には、さまざまな工事が同

時に進行するため、庁舎棟の進捗と調整しながら、複数業者が工事できる環境を協議したいと考えている。

《濱野》できるだけ予算内に、また予算が下がるようにしていただきたいが、手抜きになってはいけないので監視もしつつかりしてほしい。

教育民生常任委員会

(2/25)

福祉課

三位一体推進事業

香川県は、認知症予防に取り組むため、予防に効果があるとされる「運動・栄養・社会交流」の三位一体による取り組みを実施している。

認知症はいかに予防するかが肝要であり、「運動・栄養・社会交流」のうち、町では「栄養」部分はサロン等への出張栄養教室、「社会交流」の部分は認知症力フエを開催している。

「運動」部分について、

香川県は、「ラジオ体操」をうまく活用したいと考えている。

正しいラジオ体操は、認知症予防だけでなく、健康増進にも大きく寄与することから、町としては、今年度から法人化した小豆島スポーツティーズを活用し、普及・啓発に努めていきたいと考えている。



サロン活動で楽しみながら手先の運動

《福本耕》社会交流の部分は難しい。こういう事業に出てこない人に対するサポートは。

《答》こういう場には出てこない人を掘り起こして訪問指導など、できる限りアプローチをしていこうと考えている。

《三木》社会福祉協議会の位置づけは。

《答》社会福祉協議会では、老人会やサロン活動を把握しているの、現場の意見を聞きながら連携して事業を進めていきたい。

《鈴木》歩いて行ける距離で実施し、定着することが理想だと思うが。

《答》出ていこうとしない人が多いので、こちらから伺うことも考えている。

高齢者保健事業と介護予防の一体的実施

健康な状態と要介護状態の間に位置する「フレイル状態」の高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施することを目的に、国民健康保険及び後期高齢者医療の保健事業と介護予防事業を一体的に行う。

コーディネーターの役割を担う保健師は、医療及び介護のデータから高齢者の情報を把握し、町全体としての健康課題の

整理・分析を行う。その分析を基に、個別訪問や健康教室、サロン等保健指導や健康相談等を実施すること、必要な医療サービスへの接続や高齢者の積極的な社会参加に繋がるものと考えている。

その他「福祉関係業務の効率的な運営体制」についての説明があった。

健康増進課

子育て世代包括支援センターの設置

妊娠期から子育て期のさまざまなニーズに対して総合的相談支援をワンストップで提供する拠点として、4月1日から設置する。妊娠届出等の機会に得た情報を基に、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要に応じて個別に支援プランを策定し、保健・医療・福祉・教育等の地域の関係機関による切れ目のない支援を行っていく。

《三木》保健センターの一部門との考えか。
《答》保健センターの母子保健部分が子育て世代包括支援センターを兼ねる。

新型コロナウイルス感染症への対応

これまでに連絡会を2回開催し、対応についての方針を検討している。

町ホームページにコロナウイルスに関する情報を掲載し、公共施設ほか町内の公共交通機関・商業施設等へポスター掲示の依頼を行っている。

また、チラシを配布するとともに、町広報3月号に折り込む予定である。

《鈴木》医療機関に行くのではなく、まずは保健所へ相談することを住民へ早急に周知すべきと思う。

教育総務課

学校給食費

学校給食は、基本的に原材料費は保護者からの

給食費で賄い、人件費等は町が負担している。原材料の値段が上昇傾向にあり、給食費を上げたいと考えている。

《福本耕》全国的にも無償化の流れが広まっている。材料費が上がっているのは事実であるが、保護者に負担を求めるのではなく、行政で値上がり部分を負担する姿勢をもってもらいたい。

その他「四海こども園の建設」についての説明があった。

住民環境課

一般廃棄物(不燃物)の処分

最終処分場の埋立容量が非常に厳しい状況であるため、島外搬出も選択肢の一つとして考えていると説明してきた。

この状況の中、綾川町及び綾川町にある(株)富士クリーンと協議を行ってきた。その結果、本年4月から、一般廃棄物(不燃物)の処分について、

綾川町の(株)富士クリーンへ搬出し、処分しようと考えている。

《鈴木》埋立期限は来年の3月末までだが、なぜ今年の4月からなのか。
《答》あと1年間は自治会との契約が残っているが、埋められる容量が非常に厳しくなっているためである。

《鈴木》徹底的に努力したのか。町民への発信をみても危機感が見えない。
《答》不燃物の中には燃えるもの・資源ごみも混じっているもので、ごみの減量化を図るため、民間業者へ委託し、手選別による分別をしている。



不燃ごみの埋立処分が終了した小江の最終処分場

議会の動き (令和2年1月21日～令和2年4月20日)

4月	3月	2月	1月
10日 議会広報特別委員会 " 全員協議会	18日 3月定例会本会議 " 議会運営委員会 12日 総務建設常任委員会 11日 教育民生常任委員会	28日 小豆島中央病院企業団議会 " 全員協議会 27日 国民健康保険運営協議会 26日 香川県後期高齢者医療広域連合議会 25日 教育民生常任委員会 20日 総務建設常任委員会 12日 議会活性化特別委員会 (タブレット操作研修)	31日 議会運営委員会 " 1月臨時会本会議 " 教育民生常任委員会

議員が町政を問う

ここが聞きたい



3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。全文記録（会議録）は、土庄町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



↑
QR code

質問議員	質問事項
三木 俊明	○農業振興で町づくりを
鈴木 美香	○不燃ごみゼロに向けた取り組みを
岡本 経治	○町長印の取り扱いに十分注意すべき ○灘山の最終処分場の進捗状況は ○捕獲イノシシを活用した地場産業を
福本 耕太	○新型コロナウイルス感染症への対応は ○大木戸住宅の家賃値上げはやめるべき ○多目的グラウンドの照明利用料の値下げを



三木俊明 議員

農業振興で町づくりを

三木 農業は地域と密着し、自然豊かな景観を守っていくには欠かせない分野である。町民の力、とりわけシルバー世代の力を活用した農業を元気にする施策を打ち出し、進めていくべき。新年度の農業振興策は。

三木 小豆島オリブ以外に、基幹作物のブランド化や経営基盤の安定化に向けた施策はあるか。

農林水産課長 基幹作物のブランド化は、「小豆島いちご」や「小豆島オリブ牛」などがある。

「さぬき讃フルーツ」の生産拡大と所得確保を図るための支援事業もある。

三木 パック詰め工場の創設、観光農園化に向けた施策など今後の農業に夢が持てる施策を打ち出してほしい。また6次化応援事業にはさまざまな分野の協力が必要。町が先頭に立って進めてほしい。

三木 シルバー世代を対象とした農業起業支援策を創設して農業従事者を増やしていくべきでは。

農林水産課長 新規就農者を増やしていきたいが、国・県の補助以外での新たな支援は難しい。

三木 いかにして、農業従事者を増やし農地を守り、自然豊かな景観を残していくかか大事だ。危機意識を持った政策を考えてほしい。

三木 近年被害が増大している有害鳥獣害対策を兼ねた里山再生に取り組む施策を創設すべきではないか。

農林水産課長 里山再生は鳥獣害対策においても有効な方法である。里山再生に取り組む地域があれば、鳥獣害対策協議会への維持管理費補助と同程度の補助を検討したい。

三木 里山再生には、所管課だけの視点、施策ではなく、今後の土庄町の町づくりの観点から、各課が横断して総合的に取り組んでいただきたい。

三木 町の活性化の起爆剤になるような観光振興策、新規事業も必要だが、町民が参画でき、自分たちの活動が我が町や地域を守り、次世代に繋げて

いくという意識が持てる施策が求められていると思う。その一つとして、農業施策等の充実が必要と考えるがいかがか。

町長 農業は我が町にとって非常に重要な産業である。今後は町全体で考えていく上でいろいろな提案していただきながら、より良い農業を目指していきたい。

三木 誰もが参画でき、我が町の活性化に自分自身も関わっているという意識を持てる施策をぜひとも打ち出してほしい。



基幹作物のいちごを使って夢のある農業施策を



鈴木美香 議員

不燃ごみゼロに向けた取り組みを

鈴木 最終処分場の建設場所が決まらず、綾川町へ土庄町の燃えないごみを令和2年4月から令和8年3月までの6年間引き取ってもらう。その間従来の費用に加え、収集、運搬、破碎、積み込み、管理など土庄町と綾川町の処分業者等に年間ざっと5千万円の上乗せ額が発生する。この処分方法について町民にどのように周知するのか。



綾川町の最終処分場(株)富士クリーン

住民環境課長 小江の最終処分場がいっぱいになり、新しい処分場の建設にこれから6年間は要する。その間のごみを処分するには、他町へ搬出する方法がなく、4月の町広報紙及びホームページ等で住民へ周知する。

鈴木 この処分方法にかかる費用は住民へ報告されるか。

住民環境課長 金額などは、今回の広報に入れる予定はないが、将来的にはごみの処分にどれくらいのかという部分も含めた周知活動もしていきたいと考えている。

鈴木 ごみの種類は違うとしても、豊島で日本初の産業廃棄物に関する公害調停を申請し、40年戦った。ごみ問題で苦しんだ土庄町が、他の町にゴミを捨てにくくすることに関し、どのように考えているか。



岡本経治 議員

町長印の取り扱いに十分注意すべき

岡本 町長が設立した施設整備推進会議の副会長が、町民が特許取得している「キラリ光る小豆島」の商標権を、昨年9月に特許庁へ取消請求する際、申請書類の中に町長印を押印している書類があることが発覚した。依頼されて安易に押印するのはいかがなものか。その後、半年以上が経ったが、結果を聞いているか。

町長 公印の使用が適当と判断し押印した。公印の使用は、十分な審議を行った上で押印するものである。指摘を真摯に受け止め、適切な取り扱いを心掛けたいと思っている。また、何に使うかは聞いていないので、後のことは分からない。

岡本 事後報告がないような申し出には今後注意してもらいたい。ちなみに取消請求は退けられた。町長は、大きな影響力と職権を持っていることを理解してもらいたい。

灘山の最終処分場の進捗状況は

岡本 施設整備推進会議が土地の交換を提案している灘山の最終処分場は、町における大事な案件である。推進会議から提案があつたが、まとまる兆しがない。推進会議をあてにして先延ばしせず、町長を先頭に取り組むべきだ。地権者は東京の方と聞いている。町長はよく東京へ行くが、会って交渉されたのか。

町長 先方からは連絡があるまで待つてほしいと言われている。地権者とのコンタクトは取れてないのが現状である。

捕獲イノシシを活用した地場産業を

岡本 コロナウィルスで小豆島の観光産業は、打

撃を受けている。観光産業の復活をどのように考えているのか。

商工観光課長 新型コロナウィルスによる影響を受ける事業者を対象に、既存の融資制度に実質無利子の融資制度を新たに加える予定である。

国の動向に注視しながら、支援策を町ホームページ等で周知していく。

岡本 小豆島全体で年間約3千頭のイノシシなどが捕獲されており、処分に費用がかかっている。町内でジビエとして提供している店もあるが、大半は廃棄処分している。県外では官民一体で産業として取り組んでいる自治体もあり、地場産業のPRや自主財源の確保による地域経済の景気回復につながると思うがどのように考えているか。

農林水産課長 本町での鳥獣の処分は、ほとんどを埋設処分している。黒字を出す目安の処理頭数は、年間千頭以上であり、

生きたままの捕獲が理想である。全てがジビエとならないため、現在の埋設処理も維持しなくてはならない。現段階でのジビエ施設の設置は非常に難しいと思う。

岡本 難しいことを個人でやっている方がいる。官民一体となつてやるのが素晴らしいと思うが。

町長 土庄町だけでは難しいが、小豆島町と力を合わせて需要や資金面など全体的な計算をした上で、できるのであれば検討の余地はある。

※ジビエ
食材として捕獲された野生の鳥獣



捕獲わなに近づくイノシシ

住民環境課長 他町へのごみ搬出については、町内の不燃ごみを処理できないということにならないように、今取りうる選択肢の中ではやむを得ないと考えている。

鈴木 SDGsの理念である循環型社会を目指し、使い捨て、消費過多による大量廃棄を見直し、物が最終的にどこへ向かうのかを考えるような消費行動の改革を誘導しなければならぬ。

今後数年に他町への搬出費用に約3億円余計にかかるの見込まれる。財政が極度に厳しい中で、の浪費という点を重く受け止め反省しなければならぬ。他町が受け入れて



燃えないごみ袋の中にペットボトルや空き缶が混ざっている

くれるからといって、喫緊の課題が解決できたと安心するのではなく、行政の失策で捨てる場所が無くなったのなら、この機会を捉え、埋め立てごみゼロの方向を目指し、分別を徹底する施策をもっと考えるべきではないか。

住民環境課長 現在、燃えないごみの中に燃えるごみや資源ごみが混じっているのを手選別し、極力埋め立て処分するごみを減らす努力をしている。また、資源ごみについても、現在月に1回の収集であるが、常時資源ごみが捨てられるようなステーションの設置を検討している。

新型コロナウイルス感染症への対応は

福本 コロナウイルス対策として政府は「自粛、休業要請」を出しているが、これによる地域経済への影響は極めて大きい。その対策として具体的に次の4点を求める。

- ① 総合的な相談窓口の設置を。
- ② フリーランスの個人事業主や自営業者に町独自の休業補償を。
- ③ 小・中学校の休校により、給食センター職員や支援員など臨時職員が休業を余儀なくされている。彼らに休業補償を。
- ④ 低所得者世帯や生活困窮世帯、特に子どもがいる世帯へ総合的な支援を。



福本耕太 議員

健康増進課長 ①は、問い合わせ先を住民に周知するとともに、各課の連携体制を整えている。

商工観光課長 ②は、国の緊急対策を見ながら町の施策を検討したい。

教育総務課長 ③は、休業補償までは考えていない。

町長 ④は、具体的にはまだ決まっていないが何かしようとは考えている。

大木戸住宅の家賃値上げはやめるべき

福本 総務建設常任委員会では「住宅リフォーム」による利便性向上分を家賃に上乗せし、段階的に値上げする計画を説明した。低所得者に、機械的に家賃の増額を求めれば、住民は生活困窮に陥ってしまう。

公営住宅は、法律で「低所得者の生活を支えるために建てられる」と明記されている。住民の実態に即した家賃基準を設定すべきだ。

建設課長 家賃計算の構成要素は公営住宅施行令で定められているが、利便性係数（リフォームによる値上げ額）は、町が決めることになっており、青門ヶ丘住宅とも比較をして検討している。

公営住宅はあくまでも住宅に困窮する低所得者向けの住宅なので、一定の収入がある場合は、近隣の住宅家賃等から算出した家賃をいただく。入居者の負担に配慮し、6年間かけて徐々に上げていく。

福本 家賃の支払いに苦悩する世帯や生活苦に陥っている世帯は機械的に値上げせず、家賃見直しも含めて柔軟な対応をすべきだ。

多目的グラウンドの照明利用料の値下げを

福本 来年度から新たに旧土庄高校上庄グラウンドが使用可能となるが、土庄中央グラウンドと同様、30分あたりの照明利用料が1100円と高額で使用しづらいという声

がある。
照明の電気代の原価はいくらか。また、利用料の決め方は。

生涯学習課 中央グラウンドは中央公民館からの分岐配電のため、電力使用量を確認する方法がない。旧土庄高校上庄グラウンドは令和2年度の利用となるので実績がなく分からない。

料金設定は、小豆島町の内海総合運動公園野球場や高松市の東部運動公園などと比較して決めている。

福本 わが町のグラウンドは通常、ガラガラに空いている。その理由は利用料が高すぎるからだ。値下げをすれば、利用しやすい環境がとれる。

たくさん使ってもらい、利用収益が上がるようにしたほうが町にとっても有意義である。思い切って値下げするよう強く求める。

町長の自己破産に係る対応について

議長から町長に 申し入れをしました

町長の自己破産の件に関し、各議員からの意見を踏まえ、4月15日に議長から町長に、対応を求める申し入れを行いました。

申し入れの内容は次のとおりです。

町長に自己破産に係る対応を求める申し入れ書

先般、新聞報道等により公となった町長の自己破産の手続き開始に関しては、町民から町長に対する不信任、道義的責任を問う声が寄せられている。これを受けて、我々は4月10日に全員協議会を開催し、今後の対応について各議員から意見を徴した。これらの意見を踏まえ、議長として次の項目について申し入れをするので、4月21日までに文書で回答されたい。

なお、申し入れに対する回答を踏まえ、今後議会としても対応を協議することを申し添える。

申し入れ事項

1. 町民は町長の自己破産に関し、テレビ、新聞等の報道のみでしか知り得ていない。まずは、町長自ら誠意をもって町民に早急に説明すること。
2. 町民の信頼回復のためにどのような対応を考えているのかを示してほしい。
3. 破産手続に関する進捗等について、議会へのすみやかな報告を求める。

土庄町議会 議長 濱野 良一

これに対し、4月21日に町長から次のとおり回答がありました。

《町長回答》

1 について

現在は、破産手続を開始した段階でありますので、6月5日以降に自己破産の結果が確定しましたら、何らの形で説明することも考えていますが、まずは議員の皆様説明させていただきます。

2 について

今後の町政運営に真摯に取り組み、町民の信頼回復に全力を尽くしたいと考えています。

3 について

全員協議会への出席依頼をいただければ、議員の皆様は自己破産に関するこれまでの経緯を説明させていただきます。

議会では、回答を踏まえ、今後の対応を協議してまいります。

議会の生の声を
聞いてみませんか？

次回定例会は
6月中旬から
の予定です

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-7011

議会日程は町ホームページでもお知らせしています

～ 傍聴される皆様へ お願い ～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の際は次のことにご協力をお願いします。

- ・体調不良の方は、傍聴をお控えください。
- ・傍聴席に入場の際は、手指消毒剤で消毒してからご入場ください。
- ・咳、くしゃみ症状のある方は、マスクの着用や咳エチケットを心がけてください。
- ・傍聴者同士の間隔を空けるため、傍聴人数の制限をする場合があります。
- ・休憩中は、室内の換気を行います。



編集後記

新緑の芽吹く季節になり、若人たちも希望に満ち進級、進学、新生活に胸躍らせていることでしょう。

友人、家族、師の恩に感謝しつつ勇気を出して一歩前進し、故郷に想いを寄せながら一生懸命に頑張つて頂きたいエールを贈りたいと思います。

また、新型コロナウイルス流行の脅威に、各種イベントの中止・延期、経済の低迷など、不安でしょうが、心だけは明るく朗らかに、『正しく怖がり』、自身でしっかりと予防を心がけ家族に安心してもらえよう頑張ります。

我々、町議会も皆さんにとって住みよい町づくりを構築すべく取り組んでまいります。

《岡本経治 記》